

青森県農林水産部農産園芸課
平成20年12月 5日制定
平成22年 1月20日改正
平成24年 2月 3日改正

デルフィニウム「スピーアシリーズ」の生産振興方針について

【基本方針】

県が育成したブルースピアー、スカイスピアー、イエロースピアー及びアメジストスピアーの4品種については、花色やボリュームなどに優れ、県内外の市場関係者から高く評価されていることから、地方独立行政法人青森県産業技術センター（以下、産技センター）及び花き産業関係者との連携強化に努めながら、青森県オリジナル品種「スピーアシリーズ」として、本県の夏季冷涼な気象を生かし、生産拡大と産地づくりに取り組む。

また、新たに産技センターが開発したなつぞらスピアーや青フラDe1交15号についても、既存のブルースピアーと組み合わせた活用が期待できることから、県オリジナル品種として普及を図る。

【生産・販売方針】

生産拡大と品質アップで、平成25年には作付面積を平成20年の2.7倍の250アール、販売額で4.4倍の5,000万円を目指す。10年後には1億円産地を目指す。

項目	H19	H20	H21	H25	H30
面積 (a)	21	92	125	250	500
出荷量 (本/a)	1,300	1,300	1,500	1,500	1,500
単価 (円)	100	100	120	140	140
販売額 (千円)	2,700	12,000	22,500	52,500	105,000

※H20年の1億円以上；キク（5.9億円）、バラ（3.1億円）、トルコギキョウ（1.6億円）の3品目

【具体的な対応策】

項目	課題	対応策
1 生産販売体制の強化 (次ページへ続く)	(1) 県内関係者の連携強化	① 生産販売対策会議の開催 (生産者、JA、全農県本部、日本種苗協会県支部、県内市場、産技センター、県)
	(2) 首都圏花き市場との連携強化	② 「青森花き研究会」や全農県本部との定期的な情報交換

1 生産販売体制の強化		③市場と県内生産者との現地情報交換会の開催
	(3)販売戦略の構築	③需要動向に即した品種構成 ・ F 1 ;ブルースピアー、青75Del交4号 ・ 栄養系 ;アジストスピアー主体 ④用途に応じた規格等の見直し 例・業務用 100~150cm ・ 花束用 50~ 80cm
2 生産・品質の向上	(1)指導者の技術向上	①研修会の開催 ②栽培マニュアルの活用
	(2)生産者の栽培技術の向上	③地域別研修会の開催 ④栽培暦の作成配布
	(3)研究の充実	⑤県内仕向と県外仕向の品種と栽培方法の確立 (産技センター)
3 産地づくりの推進	(1)主力産地の育成	①「JAつがるにしきた」を対象とした指導の強化
	(2)生産の拡大	②普及展示の実施 ③デルフィニウム生産拡大フォーラムの開催
4 種苗の供給拡大	(1) F 1 品種の種子の増産 (当面 現行の 2 倍)	①生産ハウスの増設 (産技センター内に50坪ハウス増設)
	(2)栄養系品種の苗の増産 (H25には現行の 2 倍)	②増殖体系の効率化 (増殖体系の見直し) 例 ; 供給形態 ポット→セル苗 供給時期 一括配布→分割配布
5 販売対策の強化	(1)県内消費の拡大	①産地表示推進による県産花き販売の差別化 ②花育推進による消費誘導
	(2)県外出荷の拡大	③大田市場での展示PR ④首都圏市場での求評懇談会